

経済指標ウォッチャー

米ISM非製造業景況感指数 大幅に改善

今後の景況感は感染第2波がどこまで拡大するか次第か

ISM非製造業景況感指数とは？

全米供給管理協会（ISM）がサービス業を中心とする非製造業の購買担当者へのアンケート調査結果をもとに、毎月公表している米国の非製造業の景況感を示す指標のひとつ。毎月第3営業日に公表される。米国GDP（国内総生産）において非製造業は全体の約7割を占めていることから、製造業景況感指数より重要と考える投資家も多いと言われる。製造業景況感指数と同様、50が景気の拡大・後退の分岐点であり、50を上回ると景気拡大、50を下回ると景気後退を示す。

2020年6月は市場予想を大幅に上回る

全米供給管理協会（ISM）が7月6日に公表した、2020年6月の非製造業景況感指数は、前月から大幅に改善し57.1と、過去最大の上昇幅（前月比+11.7）となりました（図表1）。事前の市場予想50.2を大きく上回り、新型コロナウイルス感染拡大前の2月（57.3）とほぼ同水準です。新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、4月の景況感指数はリーマンショック後の2009年3月（40.1）以来の低水準となっていたものの、段階的な経済活動再開などを背景に、6月は同指数を構成する4指数のうち3指数が前月から改善しました。

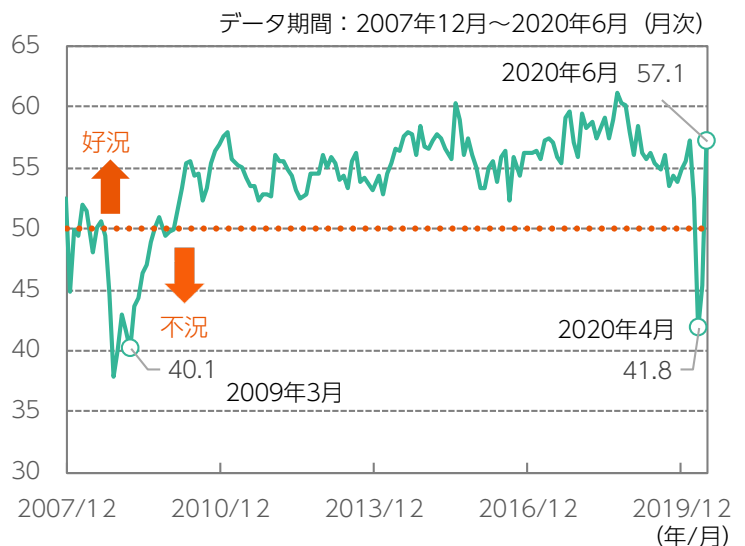
景況指数と新規受注の改善が全体をけん引

構成指数を見ると、景況指数が66.0（前月比+25.0）、新規受注が61.6（同+19.7）と前月から大幅に改善しています（図表2）。

経済活動の再開にともなう店舗の営業自粛の解除、人の移動の制限措置の解除等がサービス業の景況感の改善につながり、非製造業景況感指数が上昇したものとされます。

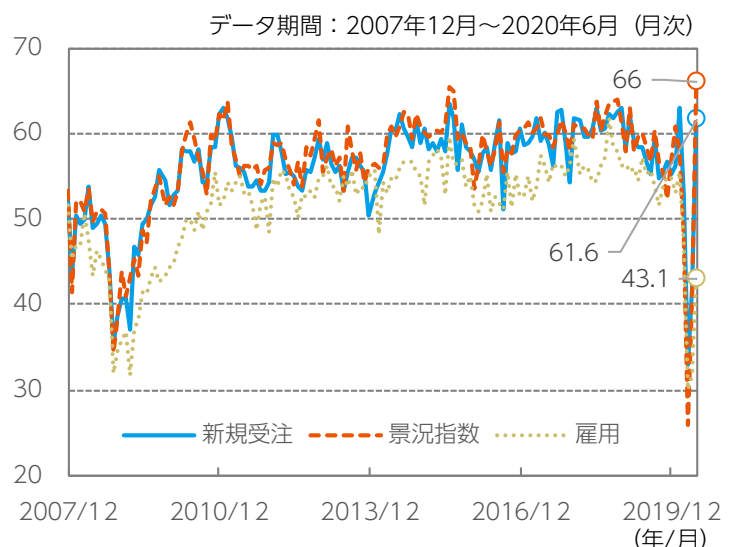
一方で、足元では感染が再拡大し、一部の州ではレストランやバーが営業停止に追い込まれています。経済活動再開を背景に非製造業の景況感改善していると思われませんが、再び店舗閉鎖措置が採られるような状況になれば、景況感再び悪化することが想定されます。さらなる感染拡大からロックダウン（都市封鎖）等の厳しい措置により、経済活動の停滞が長期化することも懸念されます。

図表1：非製造業景況感指数は大幅に改善



※ISM非製造業景況感指数の推移

図表2：景況指数や新規受注中心に回復が顕著



※ISM非製造業景況感指数（構成指数）の推移

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>